短編小説「モノレールストーリー」吉成 庸子

モノレールデート

紫色の大輪の朝顔の花が咲いていた。今日子は、それを見る大声で家の中に向かって「おばあちゃん、朝顔が咲いたよ」と呼びかけた。「なんだね、朝っぱらから大きな声を出して」と言いながら祖母のキヨが戸口から出てくる。

千葉市の外れにあるこの家で今日子は祖母と二人で暮らしているのだ。三年前までは祖父がいたのだが、天国へ行ってしまった。今日子は今高校3年生になる。父は今日子が生まれてすぐ交通事故で亡くなったという。母は2才で未亡人となってしまったのだ。その時から今日子は祖父母に可愛がられ幸せだった。だが小学校四年生の春休み、母が突然家を出て行ってしまった。勤め先にアルバイトで来ていた大学生の許へ行ってしまったというのだ。祖母は、あの真面目な娘が信じられない」と嘆いた。祖父は、我が子を捨て男の許に走るような女は娘じゃねえ」と言って怒った。今日子には、まだ理解出来ない事ばかり…。

あの朝出勤する祖母をモノレールの駅まで送りに行き、そこで別れたまま今日子は母と会っていない。2ヶ月前祖父が亡くなり四十九日がすんだ後、祖母が「おばあちゃん、別に会いたくないよ。幸せに暮らしているんなら、それでいいじゃないか」と聞いた。「おばあちゃん、会ってもいいが、どうする?」と聞いたが、「今日子もいつの間にか大人になったんだなあ。それじゃ会わんでもいいよ。おじいちゃんに対しても、私もあの娘には会わないよ。離れて暮らしていたって親子の縁は切れるもんじゃない。その点だけは今日子も忘れるんじゃないよ」祖母が珍しく、今日子にゆっくりした口調で言った。日頃は鉄火な、早口、男勝りの祖母なのに少しビックリしたが、その言葉は胸にしみた。わかったよ。おばあちゃん」と返事をしてから、私ちょっとモノレールに乗ってくる」と言うなり今日子は財布だけ持って家を出た。

母を最後に見送ったモノレール駅、今日子はあれからモノレール駅が嫌いだった。便利なのにどうしても乗る気にならなかった。でもその日急に乗りたくなった。祖母の言葉が今日子の心を溶かしたのかもしれない。親子の縁は切っても切れるもんじゃない…そうだよね、私のお母さんはあの人たちに行ったり、映画を観たりの交際だが、今日子は心が広がっていく幸せを初めて知った。そして母に対しても寛大になれたのだ。そうだ彼に電話して、明日モノレールデートしよう。二人でモノレールに乗って千葉の街をゆっくり眺めよう。そう考えると心が躍った。

スミカルなゆれに身をゆだねながら、素直な気持ちで自分にそんな言葉を語りかけていた。私に父親か母や妹に会える日がそんなに遠くない先に来る様な気がしている。私を捨てた父を恨んでいた自分が不思議に思えた。

でも最近になって今日子はその原因がわかった気がしている。

恋人が出来たのだ。級友のお兄さんで三才年上の優しい青年だった。たまに食事に行ったり、映画を観た位の交際だが、今日子は心が広がっていく幸せを初めて知った。そして母に対しても寛大になれたのだ。そうだ彼に電話して、明日モノレールデートしよう。二人でモノレールに乗って千葉の街をゆっくり眺めよう。そう考えると心が躍った。

彼に母は「私のしつけが悪かったんですよ。この娘に年以上もたっているのよ。日本は豊かな国になってんの。二人共古い話はやめようよ」と言ったっけな。

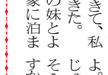
つい最近廊下の隅の戸棚から、古着や古タオルで作った雑巾の束が出て来た。ミシン縫いは後ちゃんの作、手縫いは母が作ったもの。

暑い夏の陽盛り二人が仲良く、終戦の日の思い出話をしながらせっせと雑巾作りをしている姿が浮かんできた。なつかしさがこみあげてきた。後ちゃん、母についで妹も他界してしまった。「淋しくなんかないよ」と意気がっているおのやっぱりやっぱり、一人ぼっちは淋しいな。先の事を考えたら心細い気もするけど…根が明るい私。これからは思い切り楽しいことだけやっていこうと考えている。

随筆

真夏の夜に思うこと

吉成 庸子



もすでにこの世にいない。友達がたくさんいて、楽しい毎日を過ごしているせいか、淋しいとかぬ悲しいとかめったに思わないけど、さるすべりの花を眺めているうちに急に二人が健在だった頃の夏の風景が浮かんできて、胸をしめつけてきた。

あの頃母は私の妹とよくさるすべりの陽差しの下で美しい。この木は、母が後ちゃんにプレゼントしたものだ。ヒョロッとした樹だったけど、現在では丈も高くなり、花の数もいっぱいだ。年々、木も育っているんだなあ。と、つくづく感じている。

でもこの木をくれた母も一生懸命植えた後ちゃんの手入れが大好きだったので「これは便利」だと、後ちゃんは大喜び。母は腕をふるって食事をこしらえた。「かぼちゃの煮付けに、とうがんのお味噌汁で…。それにピーナッツ味噌…」とかいろいろ、こんなおかずが食べたかったんですよ。ヨーコの料理は作るんじゃなくて、買ってきたおそうざいを並べるだけで着てましたよ」なんて話しているの。そんな二人の共通の趣味は、料理・洗濯・掃除・裁縫・編物・園芸・山歩き・長野・群馬・甲斐・上信越・伊豆・箱根・温泉・ゴルフ・ボウリング・カラオケ・ダンス・ヨガ・ピアノ・ギター・ハーモニカ・ハイキング・ウクレレ・ハワイアンダンス・ヨーロッパ・ハワイ・ニューヨーク・ラスベガス・ロサンゼルス・ディズニーランド・ディズニーシー・ユニバーサルスタジオ・ハリウッド